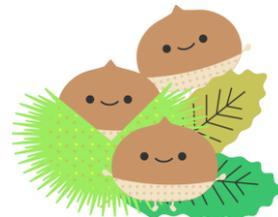


# 校長室の窓

富谷市立明石台小学校  
校長室だより NO.7  
令和3年11月9日(火)発行

## 実りの秋です



先日は、2年ぶりの運動会においでいただきありがとうございました。また、たくさんの感想やご意見をお寄せいただきありがとうございました。保護者の皆様がこの日をお大変心待ちにしていたこと、お子さんの成長に喜びを感じていること、子供たちの前向きな姿に心打たれたこと、さらには今後の行事や来年度に向けて改善を望みたいことなど、たくさんの声を届けていただきました。校長として、今後も常に子供たちのことを思い、支えていただいている保護者の皆様、地域の方々のごこと考えながら学校経営に努めてまいりたいと思います。

さて、後期に入り、1か月が過ぎようとしています。後期の始業式では、子供たちに次のような話をしました。

後期は次の3つのことを約束しましょう。

1つ目は、自分をより高めるためのめあてを立てましょう。前期より、さらに工夫をしたり努力を続けたりすることで、自分やその周りにもよい影響を与えるようなめあてを考えて取り組んでほしいと思います。

2つ目は、相手に届く挨拶をしましょう。目を合わせ、相手まで声が届く挨拶をしましょう。お互いに気持ちよく生活を送るためには挨拶はとても重要です。朝や帰りだけでなく、その場に合った挨拶を進んで行いましょう。学校だけでなくお家や地域でも皆さんから挨拶をしていきましょう。

3つ目は、元気にさわやかに生活をしましょう。後期は、過ごしやすい秋から寒さが厳しい冬へと向かっていきます。コロナの心配もありますが、かぜやインフルエンザなどにも感染しやすい時期になります。元気に過ごすためにも、外遊びや体育等を通しての体力づくり、バランスの良い食事や規則正しい生活を通して丈夫な体づくりを意識していきましょう。また、心も元気であるために、自分を大切に、相手を思いやって過ごしましょう。「自分がされていやなことは他の人にしてはいけません。」とよく耳にするといいと思います。とても大切なことです。でも「自分がされて平気なことでも、他の人にとってはそうじゃない。」ということもあります。「自分がその人だったらどうしよう。」と考えることで終わりにせず「いやいや、もっと違う考えがあるかもしれない。違うことを感じるかもしれない。」とまで考えようと意識するといいですね。「自分を大切にするのと同じように 他の人も大切にすること。他の人を大切に思うなら、同じように自分も大切にすること。」も心掛けていきましょう。

すると、教室に掲示してあるめあてには、より自分を高めようとするめあてを考えたのがたくさんありました。しっかりと話を聞き、自分のものにして実行しようとする子供たちがたくさんいると感心しています。

また、挨拶についてもそうです。私が朝に昇降口に立って挨拶をしていると、前の子が言い終わるのを待って目を見て挨拶をしてくれる子供たちが増えました。また、遠くから姿を見つけると大きな声で「おはようございます。」と伝えてくれる子も。相手に届けようとする姿勢が感じられるようになってきました。自主的にあいさつ運動に取り組む姿、さらに児童会としても活動が始まりました。思いが響き合うっていいですね。



自主的にあいさつ運動を手伝ってくれました。  
元気よく前を通る人にあいさつをしていました。

## 子供たちの様子をお伝えします。



一年生が講師を迎えて鍵盤ハーモニカの講習を受けました。目を輝かせていました。



五年生は講師を迎えて合唱指導を受けています。歌声がきれいです。



四年生が栄養士の先生を迎えて栄養指導を受けました。おやつを取り方について学んでいました。



一年生、二年生は、公園に秋探しに出かけました。二年生は、おもちゃまつりに一年生を招待しようと準備中です。



六年生が修学旅行で学んできたことを五年生に伝えていました。来年度の参考になることばかりでした。



一致団結、みんなでももろうとしている学級目標が掲示されていました。

### 秋空に響き渡った

#### 明石台小金管バンドの演奏

運動会のオープニング演奏に引き続き、明石台小金管バンドが11月7日（日）に「とみやど」屋外ステージで開催された『富谷吹奏楽祭』に出演しました。

この日もさわやかな秋空の下、17名の子供たちが一つになって、演奏を繰り広げました。合間のスピーチも一人ひとりの個性が出ていて楽しく、とてもいい発表でした。「芸術の秋」を感じた一コマでした。

